

各 位

2012 年 2 月 15 日

エーザイ株式会社

エーザイ・ファーマテクノロジー・アンド・マニュファクチャリング・プライベート・リミティッドが
「ファシリティ・オブ・ザ・イヤー・アワーズ」のプロジェクト実行部門賞を受賞

エーザイ・ファーマテクノロジー・アンド・マニュファクチャリング・プライベート・リミティッド(所在地:インド、アンドラ・プラデッシュ州バイザッグ、以下「EPM」)は、同社の研究開発・製造複合施設建設プロジェクト「エーザイ・ナレッジセンター・インド」が 2012 年「ファシリティ・オブ・ザ・イヤー・アワーズ」(Facility of the Year Awards: FOYA)のプロジェクト実行部門賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

FOYA は、グローバル製薬産業における施設の設計、建設、およびオペレーションの技術革新とその成果を表彰するプログラムです。国際製薬技術協会 (ISPE:International Society for Pharmaceutical Engineering)、インターフェックスおよび Pharmaceutical Processing 誌が主催するものであり、今年で 9 年目を迎えます。審査委員会は、グローバル製薬業界の上級管理者と学識経験者から構成されています。

この度 EPM は、最先端施設の建設プロジェクトとして 10 カ国、20 プロジェクトの中からプロジェクト実行部門賞として表彰されました。受賞に当たっては、以下の 5 つの観点から優れた実行力と実績が評価されました。

- 500 万時間以上の労働時間にわたり報告対象となる事故無発生という優れた安全性実績
- 全 14 施設から成る複合施設の建設工程を 17 ヶ月という短期間で完遂した実績
- インドにおけるプロジェクト実行の複雑性にもかかわらず、このような規模のプロジェクトをやり遂げたプロジェクトチームの能力
- 高度に自動化された日本型の高質な設備
- 高質な完全統合型の研究開発・製造複合施設を 5000 万米ドル未満の投資で実現した資本効率性

本プログラムの受賞に関する詳細な情報については、ISPE の下記のニュースリリースを参照ください。

ISPE ニュースリリース: http://www.facilityoftheyear.org/press_release_2012_foya_cw_announced

以 上

[参考資料として、エーザイ・ナレッジセンター・インド、国際製薬技術協会 (ISPE)、インターフェックスおよび Pharmaceutical Processing 誌に関する用語解説を添付しています]

参考資料

1. エーザイ・ナレッジセンター・インドについて

本センターは、医薬品の原薬・製剤の生産および原薬のプロセス研究機能を1カ所に集約した拠点であり、インド南部アンドラ・プラデシュ州バイザッグに位置するジャワハルラール・ネルー・ファーマ・シティ(Jawaharlal Nehru Pharma City)の経済特区内の約 50 エーカー(約 6.1 万坪)の区画に、総額約 50 億円を投資して、2009 年に開設しました。

2. 国際製薬技術協会(ISPE)について

IPSE(International Society for Pharmaceutical Engineering; 日本語呼称:国際製薬技術協会)は、1980 年に設立された、世界 90 カ国、製薬産業従事者 22,000 人から構成されている非営利団体です。ISPE は高品質で費用効率が高い GMP ソリューションの創出を目指し、メンバーに対し専門知識の共有、技術向上、規制当局および業界リーダーとの連携などの機会を提供することで、世界中の製薬産業のナレッジ融合をめざしています。

3. インターフェックスについて

インターフェックス(INTERPHEX)は、医薬品の研究開発・製造に関する世界有数の専門技術展で、今年 33 年目となります。

4. Pharmaceutical Processing 誌について

Pharmaceutical Processing 誌は、医薬品の開発、製造を担当する技術者および管理者向けに、革新的かつ新たな医薬品、機器、技術および動向に関する最新情報を提供する学術誌です。